

農業経営者として活躍する女性たち

令和6年度 農林水産祭 内閣総理大臣賞（女性の活躍部門）



みっちゃん工房（熊本県益城町）

平成27年に現法人を設立し、女性でも栽培や作業がしやすい作物としてベビーリーフの栽培を開始した。従業員が意欲を持ち、安心して働けるようにするためには、働きやすい環境の整備や従業員との信頼関係の構築が重要との考えから「人を豊かに、食卓を豊かに、社会を豊かに」という経営理念を掲げ、働き方改革を実施している。

女性が多い職場のため、ライフスタイルが変化しても働き続けられる職場を目指し、雇用保険の加入、産休・育休制度、完全週休二日制の導入や子どもの看護・介護休暇、男女別シャワー室の設置等の働き方改革を行った結果、出産を経た従業員全員が職場復帰するなど退職者が減少するとともに、求人数を上回る正社員への応募が来るようになった。

工場長に外国人の女性従業員を抜擢し、ほ場主任には日本人女性を配置するなど、性別・国籍に関係なく従業員が幸せになれる職場づくりを実践している。



【活躍する外国人材】
外国人材も雇用している。仕事面の支援だけでなく、日本語学習の時間を設けたり、会社負担で自動車免許の取得をしてもらうなど、生活面も含めて日本での時間が充実するよう支援している。



【ベビーリーフの加工工場】

作業効率化と人手不足解消のため、自動計量器や自動包装機を導入。一人一人の能力の差を埋めることにもつながった。



【ベビーリーフのハウス】

栽培方法の工夫により、ほ場を6回転から8回転させることが可能になり、ベビーリーフの収量増加とともに、周年栽培を実現。

資料：経営局就農・女性課「農業における女性の活躍推進について」